

aichikara 

平成 28 年度

年次報告書



平成 28 年度の aichikara

東日本大震災をきっかけに設立された aichikara は設立から 5 年を迎え、2016 年 4 月にはご協力者の皆さまに向けて活動報告会を行いました。

また、4 月に発生した熊本地震を受け、熊本県の人々の支援も行い、子どもリフレッシュキャンプでは、福島、熊本、愛知の子どもを対象としました。

学生の成長を目的とした活動や研修も数多く行い、変化に富んだ年となりました。



ごあいさつ

平成 28 年度は、当法人が設立されてから丸 5 年という節目の年でありました。この 5 年間、未熟な私たちをお支え下さいました支援者の皆様に、心から御礼申し上げます。

今年度は、熊本県で大きな震災が発生し、私たちの生活は常に自然災害と隣り合わせなのだということを改めて思い知らされました。

そうしたことから、これまで行ってきた福島県の子どもを中心としたリフレッシュキャンプには、熊本県の子どもたちも招いて開催することといたしました。

また、当法人は 5 年目を機に、キッズチャレンジサポート、ユースチャレンジサポート、人と地域を守る活動、教育機関との連携の 4 つを柱とした事業を展開していくことを決定いたしました。

本書では、この 1 年で特に重点的に取り組んだ 3 つの事業について、報告をさせていただきたいと思います。

発展途上の aichikara ではありますが、これからも日々の活動の中で、皆で成長していきたいと思っておりますので、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 aichikara
代表理事 石原 杏莉

キッズ
チャレンジ
サポート

子どもたちの可能性を広げ
様々なチカラを育む。

ユース
チャレンジ
サポート

青少年の「成長したい」
や「実現したい」をサポート
しながら、具体的なス
キルアップを図る。

人と地域
を守る活動

地域コミュニティと連携し
災害に備える。また、災害
時には被災地への迅速な支
援を行う。



contents

01	平成 28 年度の aichikara	09	活動を支える力
03	プロジェクト報告 キッズチャレンジサポート	11	5年活動報告会
05	プロジェクト報告 ユースチャレンジサポート	13	収支報告 協力機関
07	プロジェクト報告 人と地域を守る活動		

キッズチャレンジ サポート

福島、愛知の子どもたちだけではなく、熊本地震を受け、熊本の子どもたちも対象としたキャンプを実施しました。

子どもリフレッシュキャンプ

▶サマーキャンプ



期 間：2016年8月9日～19日
場 所：福崎バンガロー村（岐阜県中津川市加子母）
至学館大学（愛知県大府市）
対 象：福島県、熊本県、愛知県の小中学生
参 加 者：36名
プログラム：富士登山、無人島体験、川遊び、食育授業、職業体験、
川遊び、木工工作、肝試し、花火、オリンピック応援等

岐阜県中津川市の加子母地区でバンガロー生活をしました。初めてのプログラムとして、富士登山、無人島体験（選択制）を行いました。また、リオデジャネイロオリンピックの時期と重なったため、至学館大学にてレスリング女子日本代表選手の応援をしました。

▶ウィンターキャンプ

期 間：2016年12月23日～29日
場 所：ふれあいのやかた かしも（岐阜県中津川市加子母）
対 象：福島県、熊本県、愛知県の小中学生
参 加 者：40名
プログラム：スキー、スノーボード、スケート、陶芸、職業体験、
消しゴムはんこのオリジナルバッグ作り、クリスマスパーティ



ウィンタースポーツやクリスマス会など、冬ならではのプログラムを楽しみました。職業体験では、畑や牧場にて日常業務の体験をしました。

事前研修会



キャンプを行うための
3つの研修会を実施

▶ キャンプ研修会

A E D 講 習 会：2016年7月9日
衛 生 講 習 会：2016年7月9日
ストレスマネジメント講座：2016年7月10日、12月4日
参 加 者 数（延 べ）：54名

心理カウンセラーや感染管理認定看護師による研修会を実施し、子どもたちが心身ともに健康で過ごせるように、子どもの心理や感染症についての具体的な対応方法を学びました。

▶ 事前準備

渡 合 ラ ン プ 村：2016年7月16～17日
富 士 山：2016年7月23～24日
友ヶ島（無人島）：2016年7月30～31日
参 加 者 数（延 べ）：20名

専門的な知識をもつスタッフや協力者の指導のもと、現地での研修を実施しました。



福島、熊本での活動

▶ 事前説明会

福 島 県：2016年7月3日、12月9日
熊 本 県：2016年7月16日、11月20日

キャンプへの参加を予定されているご家族への説明会を福島県と熊本県にて各2回実施しました。子どもたちとはレクリエーションを行い、お互いを知る機会としました。



▶ リターンズ&報告会

日時：2017年3月12日
場所：吾妻学習センター（福島県福島市）

子どもたちとスタッフが再会し、レクリエーションをするとともに、保護者の方へキャンプの報告をする「リターンズ」を行いました。



コラム

ぐるぐるマーケット

もの作りの作家さんから、アクセサリーや小物などをご好意でご寄付していただき覚王山アパートにて「ぐるぐるマーケット」を開催しました。キャンプ前に2回開催し、合計409,210円の売り上げとなりました。



ユースチャレンジ サポート



ユース世代*の育成を目的とした研修を行いました。
熊本県の訪問や海外研修は、初めての活動となりました。

*30歳以下としています。

震災から学ぶためのフィールドワーク

▶宮城県

期 間：2016年7月2日
場 所：宮城県石巻市、女川町
参 加 者：ユース8名
 サポーター2名

大川小学校では、「小さな命の意味を考える会」の只野さんにお話を伺いました。また、津波による被害を受けながらも医療サービスの提供を行っていた女川地域医療センターや、多くの住民が助かった場所である日和山を訪れました。



期 間：2016年10月15日～16日
場 所：宮城県石巻市、女川町
参 加 者：ユース12名
 サポーター1名

大川小学校、女川地域医療センター、日和山に加え、石巻市内の商店街や災害公営住宅、石巻魚市場などを訪問しました。



▶熊本県

期 間：2016年11月19日
場 所：熊本県益城町、熊本市
参 加 者：ユース6名
 サポーター2名

益城町総合体育館を訪問し、建物への被害や、避難所として使用されていた当時の様子などを職員の方に伺いました。また、被害が大きかった益城町の町中や、地震の影響で瓦や石垣の崩れた熊本城を訪問しました。



リーダーシップ研修 in オーストラリア



期 間：2017年2月21日～25日

場 所：オーストラリア（ブリスベン、アルベリー、ベナラ、シェパートン）

参加者：ユース3名、引率1名

広い視野と見聞を持つ次世代のリーダーを育成するために、今年度より始まった研修です。

オーストラリア出身の南山大学の先生や「Landcare」という団体のご協力のもと、主に環境保全活動について学びました。また、ホームステイ体験や、博物館見学を通して、文化の違いを感じることができました。

アジア・オセアニアキャンプ大会



期 間：2016年10月28日～31日

場 所：東京オリンピックセンター

参加者：ユース2名

アジア・オセアニアを中心とした世界中のキャンプ関係者が400名以上集まり、講演やワークショップが行われました。劇作家で演劇教育の活動をしている平田オリザさんの講演や、オーストラリアにおけるバリアフリーキャンプについての講演、シンガポールの方によるレクリエーションの実践トレーニング等に参加しました。

スキルアップ助成

長期に渡り活動を継続した学生・卒業生メンバーを対象に、資格の取得や研修会、セミナー等への参加のために、費用面における支援をする制度が始まりました。本年度は、学生3名がこの制度を利用しました。子どもリフレッシュキャンプで食事を担当している学生1名は、「食育メニュープランナー」の資格を取得し、他2名の学生はオーストラリア研修にて利用しました。



週1回の定例ミーティングと合宿研修

毎週水曜日に事務所に集まり、学生が中心となってミーティングを行っています。各種イベントの企画を行ったり、自分たちの将来について考えたり、活動の方向性を考えたりと、時期に応じて様々な活動を行っています。また、キャンプ運営資金やリスクマネジメントについてなど、様々なテーマで合宿型の研修会を行いました。



研修① 2016年6月4日～5日 / 場所：岐阜県中津川市

研修② 2016年11月25日～26日 / 場所：大須事務所

研修③ 2016年12月10日～11日 / 場所：岐阜県中津川市



人と地域を 守る活動

九州地方の復興支援活動や、関係の深い団体様のイベント等への協力出店（出展）をしました。

熊本ボランティアバス

2016年4月14日、16日に発生した熊本地震を受け、被災状況の調査をするために、約2週間後に職員1名を派遣しました。現地の職員との調整後、ボランティアバスを運行し、活動をしました。

日 時：2016年5月2～5日、21～22日
場 所：熊本県宇土市
参加者（延べ）：45名

▶炊き出し

調理器具や食材を持参し、避難所や車中にて生活をされている方などへ温かい食事を提供することができました。

▶避難所の整備

震災直後から避難所となっていた市内の小学校で、支援物資の整理や体育館の掃除など、授業再開に向けた準備を行いました。

▶撤去・片付け

地域の方々や現地ボランティア組織と連携し、ニーズに応じて家の片づけ等を行いました。また、安全が確認されている建物の落下した瓦や木材、剥がれ落ちた壁の撤去を行いました。



他団体イベント協力・出店（出展）



▶ てんてん祭り

日時：2016年10月8日／場所：共和病院（愛知県大府市）／参加者：11名
内容：ポップコーン販売、パンダふわふわ

愛知県大府市にある共和病院の患者さんや地域の方々にむけたお祭りです。ブースを出展しました。「あやなちゃんのシュシュやさん」をはじめ、チャリティーバザーの売り上げは、全額 aichikara へご寄付いただきました。

▶ イベント一覧

- ・ 第7回手と手とも～や～こ広場
- ・ 宗春おもち祭り
- ・ 太田農園 田植え 稲刈り
- ・ てづくり市
- ・ 国府宮餅祭り
- ・ 薬物乱用防止キャンペーン
- ・ 大府市児童老人福祉センター
- ・ 東別院 初鐘 XD-K デジタル掛け軸

▶ あやなちゃんのシュシュ

小学5年生のあやなちゃんは手作りのヘアアクセサリを1つ50円で販売し、売り上げを全額 aichikara へ寄付してくれています。



東日本大震災関係



▶ 3.11 東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや 2017

日時：2017年3月11日／場所：久屋大通り／参加者：6名
内容：運営（実行委員加入）、当日ボランティア

愛知県を拠点に活動をしている NPO や企業と共に運営をしました。追悼式が開催され、キャンドルに明かりを灯し 14 時 46 分に黙とうをしました。

▶ 10歳のあなたへ

日時：2016年10月22、23日／場所：名古屋市文化勤労会館／参加者：5名
内容：受付等の当日ボランティア

「北名古屋 3.11 私たちはあの日を忘れない実行委員会」主催の、北名古屋市市政 10 周年についてのイベントでボランティアをしました。



中津川市加子母関係



▶ なかしまふれあい祭

日時：2016年10月2日／場所：舞台峠ドーム／参加者：6名
内容：段ボール工作・釣り・輪投げ等のボランティア

キャンプでお世話になっている（株）中島工務店が主催する交流イベントにてボランティアを行いました。

▶ 舞台峠うまいもん祭り

日時：2016年9月25日／場所：舞台峠ドーム／参加者：11名
内容：マッサージボランティア、パンダふわふわ

大学等でマッサージを学んだメンバーによるマッサージのボランティア等を行いました。



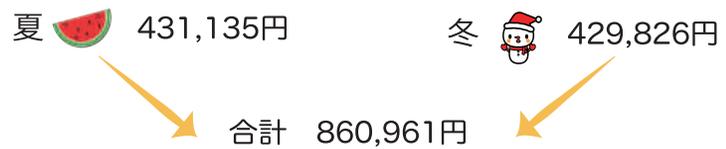
活動を支える力

街頭募金

週末には名古屋市中区栄の松坂屋周辺にて、平日にはメンバーの大学近くの大府市や日進市等の駅周辺にて募金の呼びかけをしました。



平成28年度 街頭募金



資金調達のための一つとして、パンダ型のふわふわドームを、合同会社ジェイジェイホールディングスより委託運営しました。

パンダふわふわ

平成28年度 使用状況

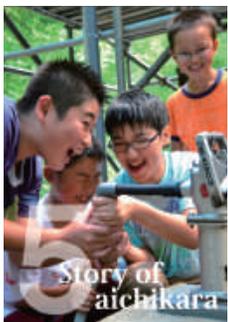
合	計	8	日間
利用者数(子ども)		783	名
参加費合計*		235,850	円
*合同会社ジェイジェイホールディングスからのご寄付			



ご支援、ご協力いただいた皆さまに、心より御礼申し上げます。

広報活動

aichikaraの活動や、子どもたちの様子を、多くの方にお伝えするために、ウェブサイトやSNSによる情報発信や、報告書による活動報告等を行なっています。



Story of aichikara
(5年のあゆみ)



キャンプ(夏)報告書



キャンプ(冬)報告書

Web
site



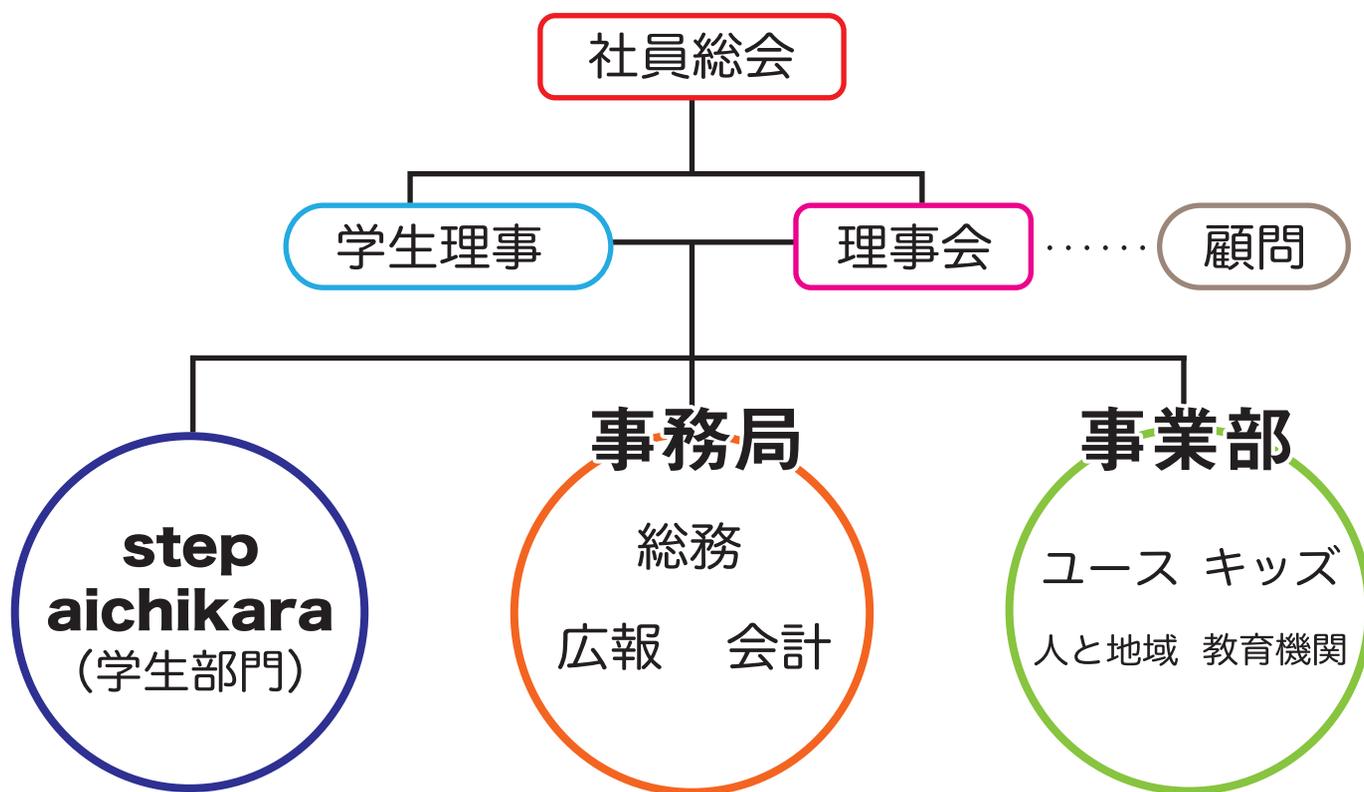
BLOG

www.step-aichikara.com/
ameblo.jp/i-aichikara/



@aichikara2011

平成 28 年度 一般社団法人 aichikara 組織図



役員名簿

代表理事..... 石原 杏莉

副代表理事..... 御堂 大貴

専務理事..... 大島 巧

専務理事..... 大井 優子

専務理事..... 篠田 一彦

専務理事..... 東松 広岳

専務理事..... 中村 豊

常務理事..... 石原 なる美

理事..... 小金沢 奈央

理事..... 佐藤 匠

理事..... 柴田 結実子

理事..... 成瀬 智子

理事..... 横倉 亜美

学生理事..... 石動 愛恵

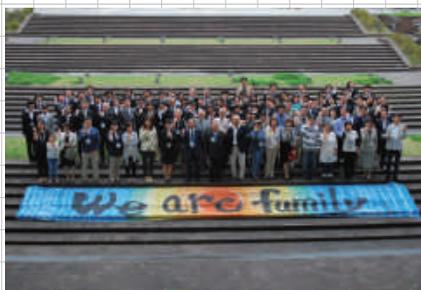
監事..... 若尾 僚彦

顧問..... 谷岡 郁子

顧問..... 中島 紀子

顧問..... 沼田 真由み

aichikara 5年活動報告会



2016年4月で団体設立から5年が経過しました。
 5年間私たちの活動を支えて下さった皆さまへ、これまでの活動の報告を行いました。
 総勢200名の方にご来場いただきました。
 お忙しい中お越し頂いた皆さま、誠にありがとうございました。

トークセッション

テーマを「東日本大震災をきっかけに〇〇を考える」とし、aichikaraと関係の深い4名にご登壇いただきました。

- パネラー

至学館大学学長	谷岡 郁子 先生
加子母小学校前校長	谷口 陽一 先生
BODY ATELIER MANAMANA	沼田 眞由み 先生
aichikara 初代学生代表 (副代表理事)	御堂 大貴

- ファシリテーター
NPO 底上げ代表理事 矢部 寛明 様



活動報告

2011年の設立から5年間のaichikaraの歩みを紹介しました。

- 発表者

福島大学 (卒業)	佐藤 匠
日本赤十字豊田看護大学 (卒業)	望月 美紗貴
至学館大学 (4年)	石動 愛恵
日本赤十字豊田看護大学 (3年)	新田 桃子

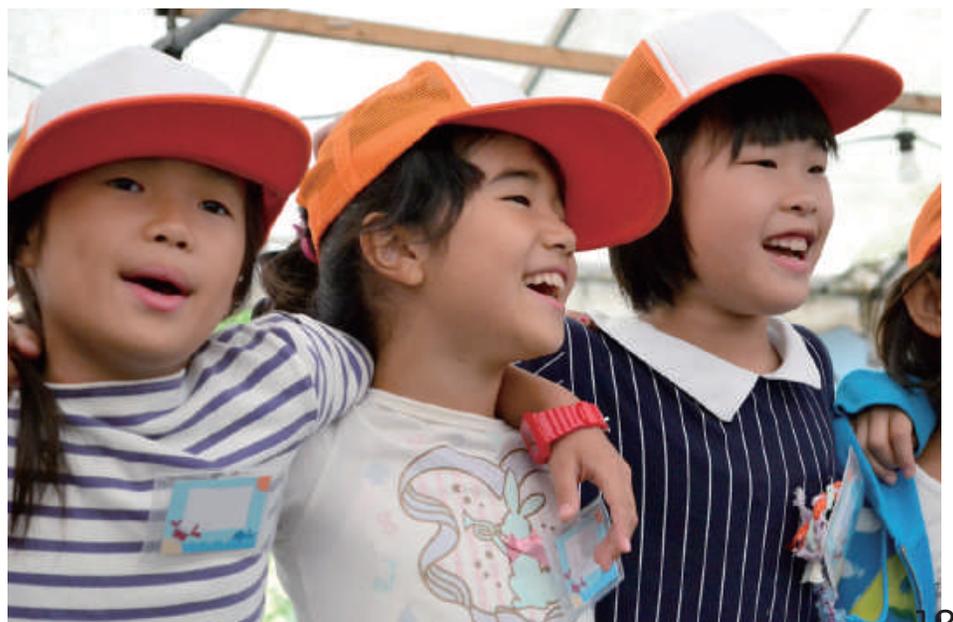


懇親会

aichikaraのメンバーのご家族や、ご協力いただいている皆さまと親睦を深めました。

- ご祝辞・乾杯
株式会社中島工務店 代表取締役 中島 紀于 様





収支報告

平成28年度 収支計算書

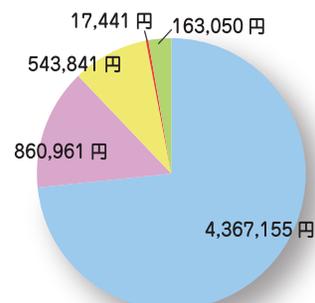
(自平成28年4月1日～至平成29年3月31日)

(単位:円)

項目		金額	備考	
収入の部	会員収入	2,084,274	理事12名、社員16名	
	キャンプ事業収入	2,157,100	参加者及びスタッフの参加費等	
	ユース事業収入	102,080	スタッフの参加費	
	人と地域事業収入	205,000	スタッフの参加費	
	寄付金収入	5,952,448	寄付金¥4,367,155、街頭募金¥860,961、募金箱¥543,841、物販¥17,441、その他¥163,050	
	助成金収入	1,527,990	中央共同募金会¥27,990、櫛ラッシュジャパン¥1,500,000	
	補助金収入	2,007,784	伊達市補助金(昨年度冬分含む)	
	その他収入	5,642,499	至学館大学等	
(A)		19,679,175		
事業支出	キャンプ事業	7,435,537		
	ユース事業	469,696		
	人と地域事業	458,216		
(B)		8,363,449		
支出の部	管理費	雑給	114,500	アルバイト代
		福利厚生費	177,804	研修費、プレゼント代等
		接待交際費	79,695	食事代、お土産代
		旅費交通費	347,474	新幹線代、高速代、駐車代、ガソリン代等
		支払保険料	140,450	自動車保険、イベント保険
		消耗品費	858,875	
		租税公課	67,300	収入印紙、自動車税等
		通信費	4,607	郵送料、切手代等
		車両費	14,980	タイヤ代
		諸会費	18,400	愛知県キャンプ協会、福島連携等
		施設利用料	280,670	五年会会場等
		印刷代	469,205	コピー代等
		謝金	210,000	五年会協力者、五年史作成者
		寄付金	11,374	イベント等
	雑費	167,372	振込手数料等	
	2,962,706			
	法人支出	給与手当	4,110,296	常勤2名
		事務所家賃	1,028,200	事務所家賃
		事務所光熱費	340,896	ガス、電気
		事務所通信費	109,052	HP維持費、インターネット代等
		事務費	535,293	顧客大臣、キャンソンSS、NSニホンリリース
		法定福利費	558,634	社会保険料
		6,682,371		
	その他	受取利息	-195	
		雑収入	-7,147	
	-7,342			
	(C)		9,637,735	
(D)		18,001,184	(B)+(C)	
経常収支差額(E)		1,677,991	(A)-(D)	
法人税、住民税及び事業税(F)		47,500		
当期収支差額(G)		1,630,491	(E)-(F)	
前期繰越収支差額(H)		13,194,120		
次期繰越収支差額		14,824,611	(G)+(H)	

● 寄付金の内訳

- 寄付金
- 街頭募金
- 募金箱
- 物販
- その他



協力機関



発行日 2017年6月7日

発行元 一般社団法人 aichikara

責任者 石原 杏莉

事務局 石原 なる美、大井 優子、山本 祐里

編集 石動 愛恵、市川 彩果、中屋敷 茉弥乃、山下 貴大

印刷・製本



紙文総合販売株式会社

〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須 2-26-28 アイランド大須 1 階

TEL : 050-5898-6896

FAX : 052-308-8910

E-MAIL : info@ai-chikara.com

HP : <http://www.step-aichikara.com/>

愛子カラ



助成団体



資料提供



この報告書は、国立国会図書館
東日本大震災アーカイブプロジェクトに協力しています。



NO MATTER
WHAT
THEY HAVE
AHEAD

rosegay

CUTE
HEART

TOP SMILING
YOUR HEART
LOVE LAUGH
SMILE
DREAM
LOVE
HEART
WILL